

研究機関：広島大学

研究課題名	下垂体腺腫における被膜外腫瘍摘出に関する研究
研究責任者名	広島大学病院脳神経外科 助教 木下康之
研究期間	2016年6月29日～ 2025年12月
対象者	2008年1月から2016年6月の間に、広島大学病院脳神経外科で下垂体腺腫を有し、初回の下垂体腫瘍摘出術を受けた患者。
意義・目的	下垂体腺腫に対する腫瘍摘出術において、疾患の根治を目指すためには腫瘍の被膜（偽性被膜）も含めた腫瘍全摘出が望ましい。今回、下垂体腺腫における被膜を含めた腫瘍摘出が手術合併症を増やすことなく、長期的な腫瘍再発を予防することを明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容はMRI所見、ホルモン負荷試験値、手術合併症、病理組織診断などです。 <u>（個人を特定可能な情報は削除しております）</u>
共同研究機関	ありません
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5227 広島大学病院脳神経外科 助教 木下康之